令和６年度１０月期古賀市社会教育委員の会議　議事録

【 会議名称 】　令和６年度１０月期古賀市社会教育委員の会議

【　日　時　】　令和６年１０月２３日（水）　１８時３０分～２０時００分

【　場　所　】　リーパスプラザこが交流館　１０３洋室

【 主な議題 】　第９回生涯学習笑顔のつどいについて

【 出席委員 】　井浦議長、角森委員、石川委員、村山委員、砥上委員、

倉掛委員（以上委員６名）

【 欠席委員 】　橋爪委員、丸井委員、山本委員

【 事 務 局 】　職員２名

【 傍聴者数 】　０名

（レジュメ）

・資料①　開催要項
・資料②　問題提起
・資料③　パネルディスカッション発表内容について
・資料④　パネルディスカッションの流れ(質問形式)
・資料⑤　パネルディスカッションの流れ(各団体の発表形式)
・資料⑥　各パネリストとの協議の進捗状況

議事録：笑顔のつどい打ち合わせ

（井浦議長）
開催要項と趣旨について、資料１の内容でよろしいか確認をお願いします。

（角森委員）
テーマが公民館なので、趣旨にも「公民館」を入れるのは、どうか。

（井浦議長）
では、趣旨の６行目を「居場所としての公民館」にしたいと思う。
次に問題提起を読んでいただいて、ご意見をお願いします。
最後の３行については、課題として挙げているが、グループ協議の中で皆さんから意見が出ればと思っている。

（倉掛委員）
イベント的な居場所はあるが、日常的な居場所は昔よりも少ないと思う。
今の子どもたちは昔よりも監視下に置かれていて、子どもの世界が作りづらい。
学童にもルールがたくさんあり、子どもたちも気が抜けない。本来、学童は生活体験の場だが、大人から管理される場になっている。保育園や学童をサービスだと思っている親もいるので、本来は一緒に子育てをするパートナーとして信頼関係が必要だと思う。

（井浦）
そういった意見も質疑の中で出てくるといい。グループ協議の中で、親自体も考えないといけないといった意見が出るかもしれない。

（倉掛委員）
保育園や学童の先生は、子どもが小さいほど親支援が必要。親へのカウンセリング力も求められる。学校の先生は教員免許があり、指導できるが、学童の先生では指導が難しいこともある。ビジョンとして、子どもたちが豊かに過ごすには、「子どもの権利」を頭に入れておかないと、どうしても大人主導になってしまう。

（井浦議長）
そういった問題については、22 行目からの内容を膨らませることもできるが、問題提起は３分なので、ベースはこれで角森副議長にお話しいただきたいと思う。

次に、パネルディスカッション発表内容について。前回の会議の中では、質問形式という意

見が出たが、発表者としては、発表形式のほうがやりやすいということだった。
発表形式で、自己紹介や活動内容など、資料③の内容をお話しいただく。
10 分から 15 分の枠でこれを全部話すのは難しい。自分たちが PR したいところを長く話されると思うので、触れられていないことがあれば、コーディネーターから投げかけて、お話していただく。
次に、発表者との協議の進捗状況を各担当からお願いします。

(事務局)
花鶴丘 3 丁目区について、丸井委員と打ち合わせに行ったので報告します。
子どもの活動としては、古賀中学校にボランティアの募集、ラジオ体操、外国人を呼んでの活動、ピザ作りなどをしている。子供を含めた活動をなるべく世代をまたいで行っている。
来月に花鶴丘 3 丁目区の活動について発表する場があるそうで、スライドの資料を見せていただいた。笑顔のつどいでは、公民館活動の中でも子どもの活動に焦点を当てて、お話してほしいと依頼した。

(倉掛委員)
子育てサロンちいさかーさは、元々は質問形式で依頼したので、発表形式に変わったことをまた改めて依頼をする。
久保西チャレンジ教室では、発表形式のほうがいいと提案されていたので、その方向で準備されていると思う。

(事務局)
3 団体とも、11 月末までに発表原稿を提出するよう依頼している。そして、コーディネーターとの打ち合わせを 11 月から 12 月までに行う予定。発表内容については、事前にお知らせしてある。

(倉掛委員)
周知については、来月、区長会での依頼を事務局でされる。私のほうからは、社会福祉協議会のネットワーク会議と民生委員の会議でチラシを配布し、周知する。